

第2回「栄養経営士」資格認定試験の合格者を発表! 新たに合格者50人が誕生、累計354人に!

表1 第2回試験および第1回試験との比較 結果概要

	第2回試験	第1回試験
受験者数	77人	405人
合格者数	50人	304人
合格率	64.9%	75.1%

表2 第2回試験および第1回試験との比較 職業別構成(合格者)

	第2回試験	第1回試験
病医院(管理栄養士)	38人(76.0%)	272人(89.5%)
病医院(その他)	1人(2.0%)	-
介護福祉施設等(管理栄養士)	6人(12.0%)	22人(7.2%)
介護福祉施設等(その他)	0人(0.0%)	-
栄養関連企業(管理栄養士)	0人(0.0%)	4人(1.3%)
栄養関連企業(その他)	0人(0.0%)	-
行政関連施設(管理栄養士)	1人(2.0%)	1人(0.3%)
行政関連施設(その他)	0人(0.0%)	-
その他	4人(8.0%)	5人(1.6%)

() :割合

【試験結果分析】
合格率は、第1回試験の75.1%より下回った。受験申込者79人、全国7会場(北海道、宮城県、東京都、石川県、愛知県、大阪府、福岡県)で77人が受験し、50人が合格した。

【試験結果分析】
合格率は、第1回試験の75.1%より下回った。受験申込者79人、全国7会場(北海道、宮城県、東京都、石川県、愛知県、大阪府、福岡県)で77人が受験し、50人が合格した。

【試験結果概要】
第2回「栄養経営士」資格認定試験は、2015年度に開催された「栄養経営士」資格認定基礎講習の受講・修了者と、16年度4月から開始したDVD受講・修了者の一部(10人)が受験対象となる試験であった。

【試験結果概要】
第2回「栄養経営士」資格認定試験は、2015年度に開催された「栄養経営士」資格認定基礎講習の受講・修了者と、16年度4月から開始したDVD受講・修了者の一部(10人)が受験対象となる試験であった。

栄養経営士の手で 地域医療の明日を切り拓こう

一般社団法人日本栄養経営実践協会(代表理事・宮澤 靖)は、2016年7月21日に第2回「栄養経営士」資格認定試験(6月12日実施)の合格者を発表し、77人が受験し50人が合格、第1回資格認定試験とあわせて354人の合格者となった。地域支部の活動もはじまり、栄養経営士のますますの活躍が期待される。

【試験結果概要】
第2回「栄養経営士」資格認定試験は、2015年度に開催された「栄養経営士」資格認定基礎講習の受講・修了者と、16年度4月から開始したDVD受講・修了者の一部(10人)が受験対象となる試験であった。

資格試験認定委員会委員長

吉田 貞夫(日本栄養経営実践協会理事)氏からのメッセージ

「先輩のような栄養士になりたい」と思われる存在になろう!

栄養経営士の認定試験も通算2回目が終了しました。第2回の合格者50人に加え、現時点での有資格者は354人となりました。合格したみなさん、本当におめでとうございます。また、残念ながら合格できなかったというみなさんも、今後の試験での快勝をめざして、さらに頑張ってください。

栄養経営士の試験は、そのテキストも6冊で、ページ数も多く、内容も多岐にわたっているとともに、栄養部門の運営や職場管理、患者の病態の把握といった内容の深い理解を要求され、経験に裏づけされた実践力も必要とされるという、非常に難易度の高い試験です。それに見事に合格され、栄養経営士の資格を手に入れたみなさんは、ご自分のプロとしての技能にしっかり自信を持ってください。

栄養経営士は、医療・介護などの業界で、まだまだ認知度が高くありません。しかし、これから栄養経営士のみなさんが、地域で活躍していただくことによって、栄養経営士の地位や存在価値はどんどん高まるはず。後輩の栄養士から、「先輩のような栄養士になりたい」と思われるようになること、それが、栄養経営士のみなさんの大きな使命だと思います。そして、活動の結果を地域や全国の研究会、学会などで発表してください。

8月からは、第3回の試験のエントリーも始まります。後輩や友人などにも、栄養経営士の輪を広げてください。さらに多くの方のチャレンジをお待ちしております。



【試験結果概要】
第2回「栄養経営士」資格認定試験は、2015年度に開催された「栄養経営士」資格認定基礎講習の受講・修了者と、16年度4月から開始したDVD受講・修了者の一部(10人)が受験対象となる試験であった。

【試験結果概要】
第2回「栄養経営士」資格認定試験は、2015年度に開催された「栄養経営士」資格認定基礎講習の受講・修了者と、16年度4月から開始したDVD受講・修了者の一部(10人)が受験対象となる試験であった。

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 主催

10年後も生き残れる管理栄養士を目指そう!

第3回 「栄養経営士」資格認定試験

2016年11月20日(日)

- 受験料: 8,000円(税込)
- 試験会場(予定): 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡
- 受験資格: 管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

※エントリー開始日等は、決定次第、当協会ホームページにて掲載いたします。

試験に関する
お問い合わせ・
資料請求はウェブで

<http://nutrition-management.jp>

または

🔍 栄養経営士

検索



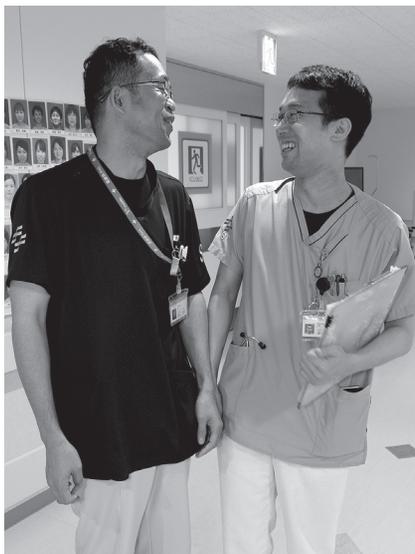
現場で活躍する栄養経営士たち

病院全体の経営を念頭に置いた 栄養サポートのあり方を考えた！

「今、自分が取り組んでいることが本当に正しいのか？」
その答えを見つげるために宮島功さんが入職したのは、日本栄養経営実践協会の宮澤靖代表理事が部長を務める近森病院臨床栄養部だった。同院で、管理栄養士としての使命を追い続けるうちに、リーダーとしての責務にめざめ、病院経営に貢献したいという大きな目標を持つようになったという。第1回「栄養経営士」資格認定試験(2015年11月実施)に合格した宮島さんは、この4月から臨床栄養部の主任に抜擢され、充実した日々を送っている。

管理栄養士にどこまでできるか 答えを求めて近森病院へ

近森病院に入職する前は、神奈川県横浜市のある急性期病院の立ち上げから、管理栄養士として2年間勤務していた宮島さんは、当時をこう振り返る。「大学院を修了後、横浜市のある急性期病院の立ち上げから、管理栄養士として参加しました。すべての専門職が同じスタートラインに立って切磋琢磨すること



言語聴覚士の井上浩明科長と。忌憚のない意見の交換が信頼関係につながっていく

とに、大変なやりがいを感じました。しかし、医療専門職としての管理栄養士のあり方を考えたとき、自分が行っている栄養管理が本当に正しいのか、集中治療室で輸液管理となっている患者に対してどこまで携わることができるとの不安も、さまざま疑問を抱くようになっていました。自分は

本当に正しい栄養管理ができていくのかどうか、その答えがどうしても知りたくなったのです」

何となくもやもやした気持ちで日々を過ごしていた頃に参加したあるセミナーで講師を務めていたのが、近森病院臨床栄養部の宮澤靖部長だった。そして宮島さんは、その講演内容に打ちのめされたのだという。

「管理栄養士が集中治療室に常駐し、静脈栄養を含めた栄養管理計画を立て、CT画像や心電図などを見ながら体液コントロールを行い、腸音を聞きながら経腸栄養への移行を医師に提案する……。正直言って、そのときの私

は何ひとつできていませんでした。管理栄養士がどこまでできるのかと、聴講後はもう近森病院で働くことを決めていました」

意を決して受けた近森病院の入職試験だったが、結果は不合格。それでも宮島さんは諦めず、半年後に再挑戦。めでたく合格となり、2009年4月に、晴れて同院に入職することとなった。

「疑問に対する答えは、入職して3日目には得られました。たとえば、がん終末期の方であっても、管理栄養士として必要な栄養サポートを、必要なときに必要だけ確実に提供しなければならぬ。それが求めていた答えです」



宮島 功さん
栄養経営士
社会医療法人近森会 近森病院
臨床栄養部主任、管理栄養士

プレイングマネージャーとして 人材育成にも期待しています

宮澤 靖氏
近森病院 臨床栄養部部長
日本栄養経営実践協会 代表理事

宮島はもともとモチベーションとポテンシャルの高い管理栄養士です。当院に「答えを見つけにきた」というだけあり、日々の臨床業務の中でも疑問や課題を見つけ、その答えを求め姿勢で業務に臨んでいます。私はそんな宮島に対して上司として、その答えにつながる糸口を示すこと、そしてチャンスを与えることに努めてきました。結果、他職種と積極的に情報交換を行い、どのようときも丁寧に應對することに努めたため、ほかの部署からの信頼が厚くなり、若いスタッフにとっての規範となる人材となりました。それが主任に抜擢した理由です。現在、集中治療室担当のリーダーとして活躍していますが、今後もプレイングマネージャーとして、若い人材の育成に努めてほしいと思います。

「栄養経営士」基礎講習DVD受講、好評受付中！

「栄養経営士」資格認定試験の受験要件である「栄養経営士」資格認定基礎講習が、2016年度より、会場受講に加えてDVD受講もできるようになりました。会場受講の場所・日程が合わないという方はもちろん、何度も繰り返して講義を聞きたいという方にもおすすめです。

本編の講義に加え、特典映像「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」も収録。宮澤靖代表理事が臨床栄養部部長を務める社会医療法人近森会近森病院で取材・撮影を行い、近森正幸院長をはじめとした病院スタッフへのインタビューや、カンファレンス風景、若手へのOJTの様子など、ここでしか見られない、完全オリジナルな内容となっています。

資格認定基礎講習の本編と合わせて、実践に向けた学習・スキルアップにご活用ください。

資格認定試験基礎講習DVDの特徴

- 宮澤靖代表理事によるわかりやすい講義！
- 見たいときに何度でも視聴することが可能！
- 明日から現場で使える実践力が身に付く！
- 近森病院の栄養管理の実態がわかる特典映像付き！
- 「栄養経営士」としてなすべきことが見えてくる！



くわしくは



集中治療室で患者の口腔内を診る宮島さん。経口摂取への移行の際、事前に嚥下機能や口腔機能をアセスメントし、何か問題があれば言語聴覚士とその解決について話し合う

使命を全うしたいという思いだけでは適切な栄養サポートはできない

現在、宮島さんは集中治療室を担当する栄養管理のリーダーとして、さまざまな職種とコミュニケーションを密に図りながら、チームマネジメントを実践している。

「入職当時、宮澤部長はもちろん、当時の主任管理栄養士の方々は私の憧れでした。いつか主任たちのようになりたい。そう思いながらあとを追いかけてきました。主任を拝命した今、自分が後輩たちを指導していく立場になったんだと思うと、身が引き締まる思いで

す」

早く臨床の知識とスキルを身に付けて、先輩たちに追いつきたい。入職以来、その一念で取り組んできた栄養サポートだったが、入職して3年が経った頃、管理栄養士としての使命を全うしたいという思いだけでは、適切な栄養サポートは提供できないことに気付いたという。管理栄養士二人でできることには限界があり、医師や看護師、薬剤師、リハビリテーションスタッフなどと、さまざまな職種と協働しないと、患者にとって真

に必要な栄養サポートにつながるから。 「管理栄養士としての考えを主張することは大切です。しかし、一方的に主張するだけでは、そこから先に進めません。まず、相手の意見を真剣に聞くこと。それがチーム医療にとっていかに重要か、身に染みてわかるようになります」

「栄養経営士の資格を取得したのも、病院全体の経営を念頭に置いたうえで栄養サポートのあり方を考えていくためです。考えてみれば、

個人的なスキルアップから経営貢献へとマインドチェンジ

職種によって考え方の違いはあれど、目標はただ「患者さんのため」。その目標の共有ができていれば、どのような状況であっても忌憚なく議論することができると。それがチーム医療の質を高め、治療成績向上につながるという宮島さん。その頃から、めざすものが個人的なスキルアップから病院全体の治療成績の向上、それに伴う病院経営への貢献へシフトしたという。



集中治療室で看護部の岡崎継主任(右)、薬剤部の安村伸枝主任(中央)と気になる患者の栄養状態について話し合う

他職種の声

井上 浩明氏
近森病院 言語聴覚科科長

宮島主任とは、集中治療室での経口摂取への移行時に協働することが多いです。早期経口摂取に向けて、患者さんの嚥下機能評価を行うのですが、その際に嚥下機能に合った食形態の提案や不足する栄養量を補うための栄養補助食品などを提案してもらっています。また、1食から経口摂取を開始し、どのタイミングで3食経口摂取へ移行できるか、その評価を宮島主任ら管理栄養士と一緒にしています。患者さんに口から食べてほしいという思いは管理栄養士も私たち言語聴覚士も一緒。頼りになる存在です。

安村 伸枝氏
近森病院 薬剤部主任

一般に輸液については薬剤師の範疇となる病院が多いと思いますが、ここではそのプランニングについて管理栄養士と薬剤師と一緒に取り組んでいるのです。宮島主任は集中治療室で患者さんの病態を総合的に評価したうえで、私たちが気付く前に水分や電解質の補正についてアドバイスしてくれます。これはほかの病院の管理栄養士の方々と違うところではないかと思えます。また、経腸栄養への移行を見据えたうえで輸液製剤の選択についてもいろいろと助言してくれるので、学ぶことも多いです。

岡崎 継氏
近森病院 看護部主任

現在、宮島主任とは集中治療室でともに働いています。彼は、カルテから患者さんの情報を集めるだけでなく、私たち看護師から患者さんの全身状態や生活背景など、カルテにない情報も丁寧に収集し、自分でもベッドサイドで患者さんの身体に触れ、肌の張りや浮腫の有無などを確認し、栄養管理計画を立てています。入室当初は多くの患者さんが輸液管理なのですが、最終的には宮島主任の提案に従って経口栄養や経口摂取へ移行し、一般病棟へ移ることが多いです。前に務めていた病院には、宮島主任のように臨床スキルの高い管理栄養士はいませんでした。私たち看護師は非常に助かっていますし、医師の信頼も厚いです。

近森 正康氏
近森病院 消化器内科部長

宮島さんをはじめ、臨床栄養部の管理栄養士全体に言えることですが、当院に着任当時、私たち医師に対してきちんとエビデンスに則った提案をすることに驚きました。さらに栄養アセスメントする際も、表面的な数値を追うのではなく、疾患という「看板」だけを見ることもありません。患者さんの背景に深く根付く病態をしっかりと見据えた栄養アセスメントを実践し、的確な栄養管理計画を立案するのです。病棟に常駐し、常に患者さんに寄り添っているからこそできることでしょう。ですから、私たち医師も管理栄養士を信頼し、栄養管理については管理栄養士に一任できるのです。

マネジメントする栄養経営士のためのスキルアップマガジン創刊!

栄養経営エキスパート

管理栄養士の方々は学会や勉強会に参加し、知識の習得に努めています。しかし「その習得した知識をどう活かせばいいのか?」「どうすればその知識を患者や利用者に還元できるのか?」と、悩んでいるのではないのでしょうか? 本誌は「その先の進み方」つまり、臨床栄養管理の結果をしっかりと出せる管理栄養士のマネジメントリーダーの育成をめざした雑誌です。

『栄養経営エキスパート』の4つのポイント

- ①病態について理解できます ②栄養管理のアウトカムの示し方がわかります ③栄養管理をベースにしたマネジメントが学べます ④リーダーとしてめざすべきゴールを考えられます

●発行:株式会社日本医療企画 ●隔月刊誌・年6回刊行 ●A4判 ●定価:1,620円(税込)

割引価格でご購読いただけます!

好評発売中!! 特集予定 第2号(8月8日) がん周術期の栄養管理とチームマネジメント 第3号(10月8日) 経口移行のチームアプローチ 第4号(12月8日) サルコペニア評価と介入

くわしくは 栄養経営エキスパート 検索

栄養経営士が知っておきたい! 栄養・食事 トピックス掲示板

栄養分野に関する最新の情報・トレンドにアンテナを張っておくのは、栄養経営士にとってとても重要なこと。知っておきたいニュースや行っておきたいセミナー情報をお知らせします。

コンテスト

第3回「やさしい素材」レシピコンテスト

マルハニチロ株式会社では、昨年に引き続き「やさしい素材」レシピコンテストを開催します。「やさしい素材」は、かむ力が弱くなった方向けのムース・ゼリー状の食品素材です。実際の現場ですぐに活用できるような「大量調理コース」と特別な日に提供したい「行事食コース」の2コースを設置。厳正な審査により、グランプリ1名、準グランプリ2名、特別賞10名が選出されます。現在レシピの応募を受付中です。ふるってご応募ください。

- 応募条件：管理栄養士、栄養士、調理師、栄養・調理学専攻の学生
 - 応募内容：「やさしい素材」シリーズを使用したオリジナルレシピ
レシピ応募コース：大量調理コース／行事食コース
 - 評価項目：大量調理コース：簡便性・栄養面・美味しさ／行事食コース：盛り付け・アイデア・美味しさ
 - 応募締切：サンプル申込締切：10月14日(金)必着／レシピ応募締切：10月31日(月)必着
 - 審査員：麻植有希子氏(ワタミ株式会社健康長寿科学栄養研究所所長)
工藤美香氏(新都市医療研究会「君津」会大和病院栄養部部長)
 - 発表：「ヘルスケアレストラン」2017年2月号およびマルハニチロのWEBサイトで
 - 主催：マルハニチロ株式会社
- ★詳細はホームページ(<http://www.medicare.maruha-nichiro.co.jp/19637/>)でご確認ください。

宮澤靖代表理事 セミナー情報

第54回日本医療・病院管理学会学術総会 創造的破壊～医療の質の向上と効率化の 同時達成を目指して

保健・医療・福祉分野における諸問題を多面的に考究し、社会の進歩と人類の福利に貢献することを使命とする日本医療・病院管理学会。今年で第54回を数える学術大会が9月17・18日の両日、東京医科歯科大学M&Dタワー鈴木章夫記念講堂において開催されますが、この度、宮澤靖日本栄養経営実践協会代表理事が18日(日)のランチョンセミナー(日清オイリオグループ株式会社協賛)に登壇することになりました。病院経営の第一人者が集まる場で栄養経営についての講演が行われることは、大きなインパクトになります。一般参加も可能ですので、ご興味のある方はぜひ足を運んでみてください。

- 日時：9月17日(土)、18日(日) ※宮澤代表理事のセミナーは18日(日)となります
- 会場：東京医科歯科大学M&Dタワー鈴木章夫記念講堂
- 運営事務局：株式会社プロコムインターナショナル
TEL:03-5520-8821 FAX:03-5520-8820 Mail:jsha54@procomu.jp
- 特設サイト：<http://www.procomu.jp/jsha2016/>

少人数セミナー

患者を引き付ける実践的栄養指導講座 ～がん・摂食嚥下・低栄養編～

現在、栄養指導の現場で特に問題となっているのが、平成28年度の診療報酬改定で算定が可能となった、がん・摂食嚥下機能低下・低栄養患者への栄養指導です。日本医療企画九州支社では多くの栄養関係者の方々からの熱いご要望をいただき、栄養指導をメインにしたワークショップ形式の講座を開催いたします。単に座学で理論を学ぶだけでなく、実際に参加者がロールプレイを行い、ご自身の栄養指導を他の参加者とともに磨き上げることができ、少人数で一人ひとりが深く学べる講座となっています。

- 日時：2016年9月4日(日) 10:00～16:30
- 会場：第三博多借成ビル5階(福岡市博多区博多駅南1-3-6)
- 内容：講義①がん・摂食嚥下・低栄養の基礎知識、病態の解説
栄養指導の模範指導と指導のポイント解説
講義②ロールプレイ
総評
- 講師：山下茂子先生(日本栄養経営実践協会理事)
- 参加費：日本栄養経営実践協会会員13,000円(税込)／一般15,000円(税込)
- 定員：10名
- 主催：株式会社日本医療企画九州支社
- お問い合わせ：092-418-2828 担当:渡邊

協会事務局より

『「栄養経営士」公式ガイドマンガ』絶賛配布中!

本協会では、「栄養経営士」を理解していただくための案内として『「栄養経営士」公式ガイドマンガ』を配布しております。タイトルは『「栄養経営士」が創る新しい未来の物語』。主人公は民間の医療機関に勤める管理栄養士・高梨香織。希望に燃えて就職して3年目、理想と現実とのギャップに苦戦中の彼女は自分や周りを変えていこうと奮闘しますがなかなかうまくいきません。そんなときに「栄養経営士」という資格と出会い——というストーリーとなっています。



ご覧になりたいという方、また「周囲に配りたい」というご希望などございましたら、下記のアドレスへ「マンガ希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、御社名、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、そして必要部数をご連絡ください(ご希望の部数につきましては、ご連絡をいただいた段階で調整させていただきます)。

- お申し込み：jimukyoku@nutrition-management.jp

宮澤靖代表理事がランチョンセミナーに登壇!

第54回日本医療・病院管理学会学術総会

日時 9月17日(土) 8:30～21:00
9月18日(日) 8:30～18:00

会場 東京医科歯科大学M&Dタワー鈴木章夫記念講堂

テーマ 創造的破壊～医療の質の向上と効率化の同時達成を目指して

くわしくは <http://www.procomu.jp/jsha2016/>

9月18日(日)の
ランチョンセミナーにおいて
宮澤靖代表理事
が講演いたします。
ぜひ、ご来場ください!

